

いよいよ「熊野町立 図書館」始動。

町民に使いやすい・親しみやすい図書館となっていけるか。図書館の現状を徹底分析。



県内の町立図書館第2位の広い閲覧スペース



ICタグで書籍・CD等の資料を管理(県内初)

「熊野町立図書館のことが気になる」



県内図書館第1位のインターネット利用可能台数



ICタグ管理による自動貸出機。また、「貸出冊数無制限」は県内唯一

「図書館職員からのコメント」



はじめまして。私たちが図書館のスタッフです。皆さんと本を結ぶお手伝いをします。わからないことがありましたら気軽に私たちに声をかけてください。

の世界を広げたり、心が羽ばたけるような資料をそろえ、皆さんをお待ちしています。ぜひお越しください。この図書館は多くの人の協力により出来上がりました。この生まれたての図書館を、愛情を持って支えて頂きますようお願いいたします。

オープンに先立って7月16日に行われた「図書館事前見学会」には、多くの住民が参加し、町民の図書館に対する期待の大きさを感ぜさせた。今後の運営にも期待をもちたい施設である。議会としても、この図書館が町民にとって有効に使われていくよう、協力しつつ見守っていききたい。



「熊野町立図書館」の現状 (H17年7月20日オープン時)

＜総事業費＞	土地・建築費等	約5億8千万円
＜年間予算＞	平成17年度	約6,500万円(うち図書購入費約1,000万円)
＜職員数＞	館長	1名(非常勤)
	正職員	2名
	嘱託職員	4名(司書)
＜開館時蔵書数＞	合計図書数	38,000冊(一般図書25,000冊・児童書13,000冊)
	映像資料	900点(ビデオ・DVDなど)
	音声資料	1,800点(CDなど)
	雑誌	100誌
	新聞	10紙

「今後の事業展開」

図書館の蔵書は平成26年まで順に増やしていき、最終的に7万3千冊にする予定。また、各家庭からの書籍やCDなどの寄贈申入れも随時受付けており、図書館で必要な書籍等については受け入れを行うこと。

今後のイベントとしては8月10日に「小学生のための図書館活用講座」を予定。また、これから毎月、子どもに絵本を読み聞かせる「おはなし会」も計画している。その他、障害を持つ方への各種サポートや館内の資料整理等を行うボランティアを募集するなど、町民にとってより身近な図書館となるような運営を行う予定であり、町の図書館を、町民と共に作り上げていく「協働」の第一歩ともいえそう。